

令和8年1月29日

学校関係者の皆さんへ

光ヶ丘女子高等学校
校長 小林 三佐子

本館屋上マリア像撤去及び本館中央南面外部改修工事について

日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、本館屋上に設置されているマリア像につきまして、学校施設環境の安全確保のため、令和8年2月下旬より撤去工事を実施することといたしました。

マリア像はミッションスクールである本校の象徴（シンボル）として、創立時から60年以上にわたって学校関係者の皆さん、そして地域の皆さんに親しまれてきた存在ですが、専門業者による安全点検の結果、経年劣化により剥落の恐れがあるとの指摘を受けております。また、像の移設や修復につきましても、複数の業者に依頼いたしましたが、周辺構造物の老朽化もあり対応が困難となっております。

南海トラフ地震が懸念される昨今において、現状維持では自然災害による事故の危険性も考えられることから、学校関係者の皆さんの安全を最優先し、下記の通り撤去工事を実施することといたしますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、今回の撤去に伴い、新たなマリア像を2月中旬に正門内の築山に設置いたします。

工事期間：令和8年2月19日（木）～令和8年4月5日（日）（予定）